

## 2023年度 活動報告書

今年度は新型コロナウイルスの長いトンネルからようやく抜け出し、日喉連活動が徐々に再開される状況となった。2023年度は、すべてのブロックで訓練士養成研修会(ブロック研修)が実施される一方で、失われた3年間にどう対処していくかが今後の大きな課題となった。すなわち新規会員数の減少、認定発声訓練士の高齢化、そして発声教室開催場所の再開・確保について、更には喉友会各団体の存続についても、少なからず危機感を持つ年度であった。

日喉連としましては、そうした課題に対し、一層踏込んだ施策に真摯に取り組んで参る所存。

2023年度活動概要は以下の通り。

### 1. 指導者研修会の実施

9月12日～10月20日にかけて、全ブロックにおいて実施(1泊ないし2泊)した。

### 2. 会員関係について

正会員(53団体)	:	3,784人
顧問	:	2人
賛助会員・個人	:	0人
法人	:	1社
合計	:	3,787名

### 3. 事業関係について

#### ① 定期年次総会(第24回)

2023年5月12日(金)、東京都障害者福祉会館において開催された。

来賓祝辞に続き、以下の4議案を審議し、原案通り承認された。

- ✓ 2022年度事業報告並びに決算承認の件
- ✓ 2023年度事業計画並びに予算案の承認の件
- ✓ 任期満了に伴う役員改選の件
- ✓ 次回(第12回)全国喉摘者発声大会の件

## ② 理事会について

(第1回)2023年5月12日(金)午前10時より東京都障害者福祉会館において総会に先立ち開催された。

以下の4議案を審議し、原案通り承認された。

- ✓2022年度事業報告並びに決算見込みについて
- ✓2023年度事業計画並びに予算案について
- ✓任期満了に伴う役員選任の件
- ✓次回全国喉摘者発声大会について

## ③ 臨時理事会について

定期年次総会(第24回)休憩中に東京都障害者福祉会館別室にて開催。

以下の1議案を審議し承認され、2023年度新役員体制が発足した。

- ✓代表理事及び業務執行理事選任の件

## 4. 団体割り年会費の一部免除について

構成員20人以下の団体についての年会費は、人数割り会費(300円/人/年)のみとし、団体割り会費は0円/年とする。(会報「日喉連」誌、会費受入明細表欄外、「負担区分」で会員数20名以下一負担金0円と表記し、運用する)

## 5. 人工鼻(HME)をリフィル処方箋の対象とする要望について

2022年度4月、8月の書面による厚生労働省及び内閣府宛て要望に続き、2023年9月には、新旧会長の交代挨拶時、厚生労働省社会・援護局自立支援振興室長との対面による陳情を実施した。今後も実現に向け活動を継続する所存。

## 6. 訓練士養成ブロック研修会について

今年度のブロック研修会は、すべてのブロックにおいて開催された。

ブロック研修会では、故廣瀬肇東大名誉教授(日喉連元顧問)監修の『食道発声の原理と実際・指導の実際』DVDを視聴し、訓練士の原点を見直すことで訓練士の基本とは如何にあるべきかを再確認し各々の指導力向上を目指した。

## 7. 日喉連オンライン訓練の為のインフラ支援について

会員訓練のオンラインリモートによる訓練を推進・常軌化するための機器設備として、希望団体に対しノートPC、タブレットの供与を開始し、会員数の維持・拡大に繋がる環境作りを進めていく。積極的希望団体には優先供与の方向で対応する。

なおオンライン設備については、2021年度阿部亮財団の助成金にて対応した。

## 8. 会員団体及び会員相互のコミュニケーション多様化支援について

各団体構成人員の高齢化に伴い、対面での指導訓練のみならず、リモートでのコミュニケーション強化を進めるため、携帯(スマホ)等の活用に慣れる実地研修をサポートした。(東日本ブロック研修では講師を立て訓練士全員でZOOMによるコミュニケーションを体験)

## 9. 「人工鼻アンケート利用状況調査」について

各団体の会員に対して、使用実態の調査を継続して行ったが、その結果を(株)アトスメディカルジャパンに提供し連携協力を進めることで、販売手数料収益配分に代わる各団体への協力金分配を実現した。

各団体におかれては、こうした背景をご理解いただき、引き続き定期的なアンケート調査にご協力願います。((株)アトスメディカルジャパンのコロプラスト(株)への移行後も同様の対応を確認済み)

## 10. 関連省庁、医療機関、新聞社等の各種依頼への協力について

各種機関からの依頼事項について、日喉連活動の強化に資する事案に対しては、積極的に対応した。省庁アンケート回答、医療機関等での講演、デバイス等開発の協力、新聞社等のマスコミ取材を実施・対応した。

厚生労働省HPへの日喉連活動掲載や全国紙紹介記事掲載等に繋がった。

## 11. 日喉連退会及び入会について

道声会(近畿)は発声教室維持が難しくなったことから、退会申し入れあり、2023年12月解散。北鈴会からも2024年度末に解散の意向確認。北日本ブロックの再編成を早急に構築する必要あり。一方、宮崎県向声会(九州)は2024年度から日喉連に再入会申し出あり。

## 12. 公益財団法人社会貢献支援財団からの支援について

AFLA 代表者国際会議開催等のため各種支援団体に訴求のところ、当該財団より助成あり充当済。

## 13. 会報の発行、日喉連のPR活動

会報「日喉連」第53号を発行。円滑な連絡体制を構築するため、メールアドレス等の登録推進を図った。また相互リンクの貼付け等、ホームページの有効活用を進めた。

14. その他

①慶弔関係 ー 訃報

廣瀬 肇 氏 NPO法人日喉連 元顧問、(公社)銀鈴会 名誉顧問

以上